



報道関係各位

りかん
2015 年のがん罹患数、死亡数予測
罹患数 98 万例、死亡数 37 万人
2014 年予測から罹患約 10 万例、死亡約 4 千人増加

2015 年 4 月 28 日

国立研究開発法人 国立がん研究センター

国立研究開発法人 国立がん研究センター(理事長:堀田知光、所在地:東京都中央区、略称:国がん)がん対策情報センター(センター長:若尾文彦)は、本年 2015 年に新たにがんと診断される数を示す罹患数と死亡数の予測を算出し、がん情報の総合サイト「がん情報サービス」にて公開しました。

URL: http://ganjoho.jp/public/statistics/pub/short_pred.html

2015 年予測の概要

罹患数(新たにがんと診断されるがんの数)

- 予測がん罹患数は、982,100 例(男性 560,300 例、女性 421,800 例)で、2014 年予測値より約 10 万例増加。高齢化とがん登録精度の向上が要因と考えられます。
- 部位別罹患数では、大腸がん、前立腺がんの罹患が増加し、男性においては前立腺が最多。がん登録の精度向上と前立腺がんの PSA 検診の普及が要因と考えられます。

死亡数(がんで亡くなる人の数)

- がん死亡数は 370,900 人(男性 219,200 人、女性 151,700 人)で、2014 年の予測値より約 4 千人増加で大きな変化は見られませんでした。
- 部位別死亡数では、全体では大腸の順位が上がりましたが、男女別での順位変動はなく 2014 年と同様の傾向でした。

短期予測の活用方法

罹患においては地域がん登録による 2011 年の推計が、死亡数においては人口動態統計による 2013 年の実測値が、それぞれ過去の実測値の最新統計として公開されています。

国や地域の確実ながん対策のためには、実測値と将来予測の両方のデータを見る必要があり、国立がん研究センターでは 2014 年より当年の罹患数、死亡数の予測を算出し公開しています。この短期予測を活用することで、がん対策の目標設定、評価を行うことに役立ちます。また予測値はこれまでの傾向が続いた場合を前提に算出するため、後に公開される当該年の実測値と突き合わせることで、がん対策でどれだけ罹患、死亡を減らせたかの評価、分析を行うことも可能となります。

2015 年のがん統計予測

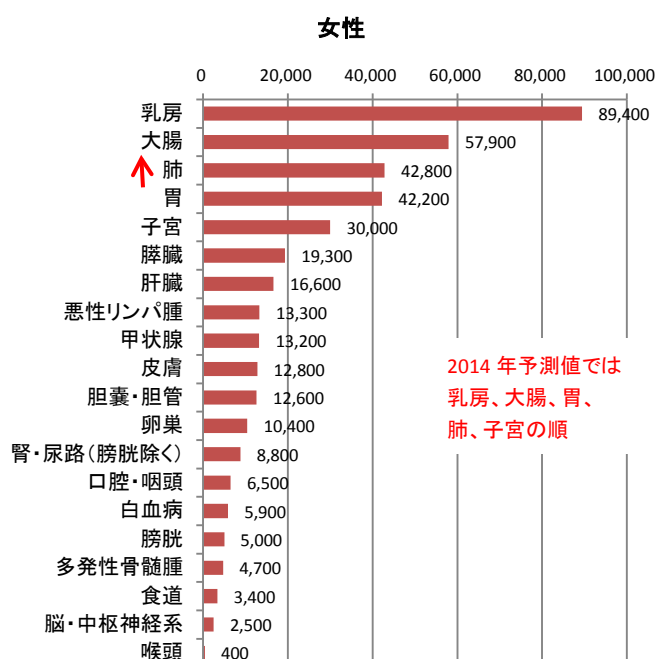
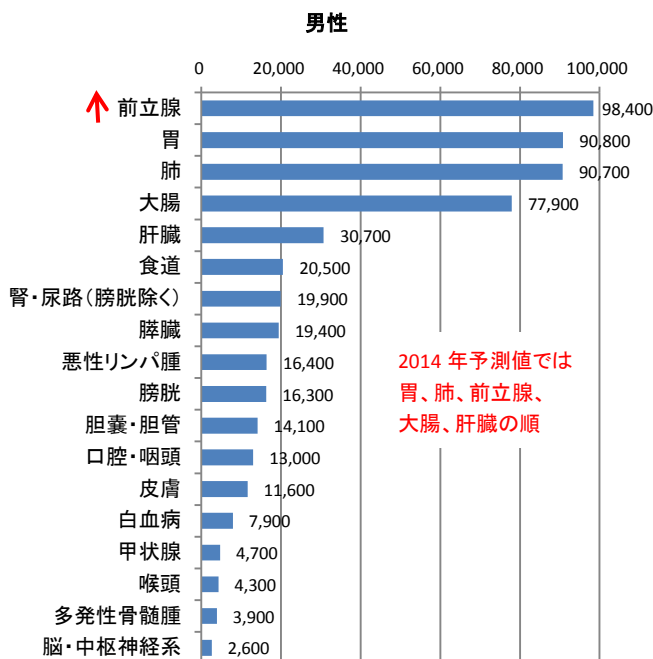
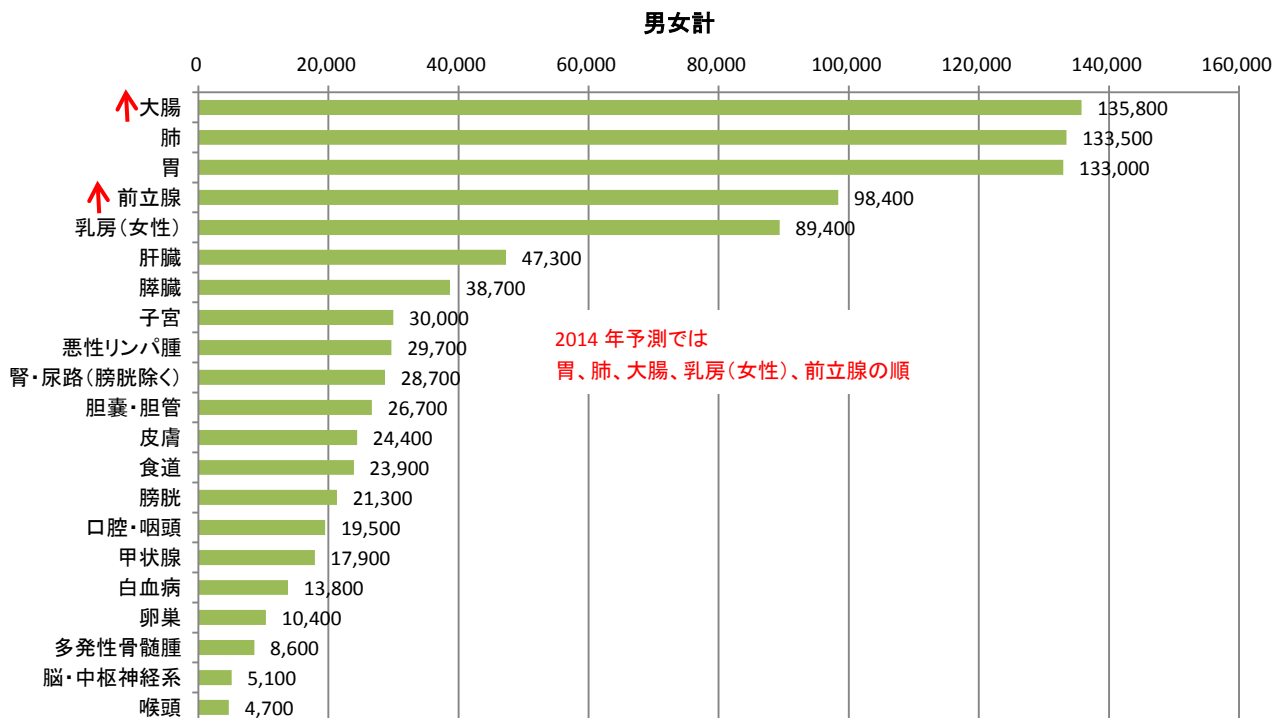
罹患数(新たにかんと診断されるがんの数) *資料 1 参照

● 算出に活用したデータ

- ・ 全国がん罹患モニタリング集計のがん罹患数 1975～2011 年全国推計値
- ・ 将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 中位推計)

● 結果

- ・ 予測のがん罹患数は 982,100 例(男性 560,300 例、女性 421,800 例)
- ・ 2014 年の予測値から約 10 万例、実測値に近い 2011 年推計から約 13 万例増加
- ・ 大腸、肺、胃、前立腺、乳房の順に罹患数が多い



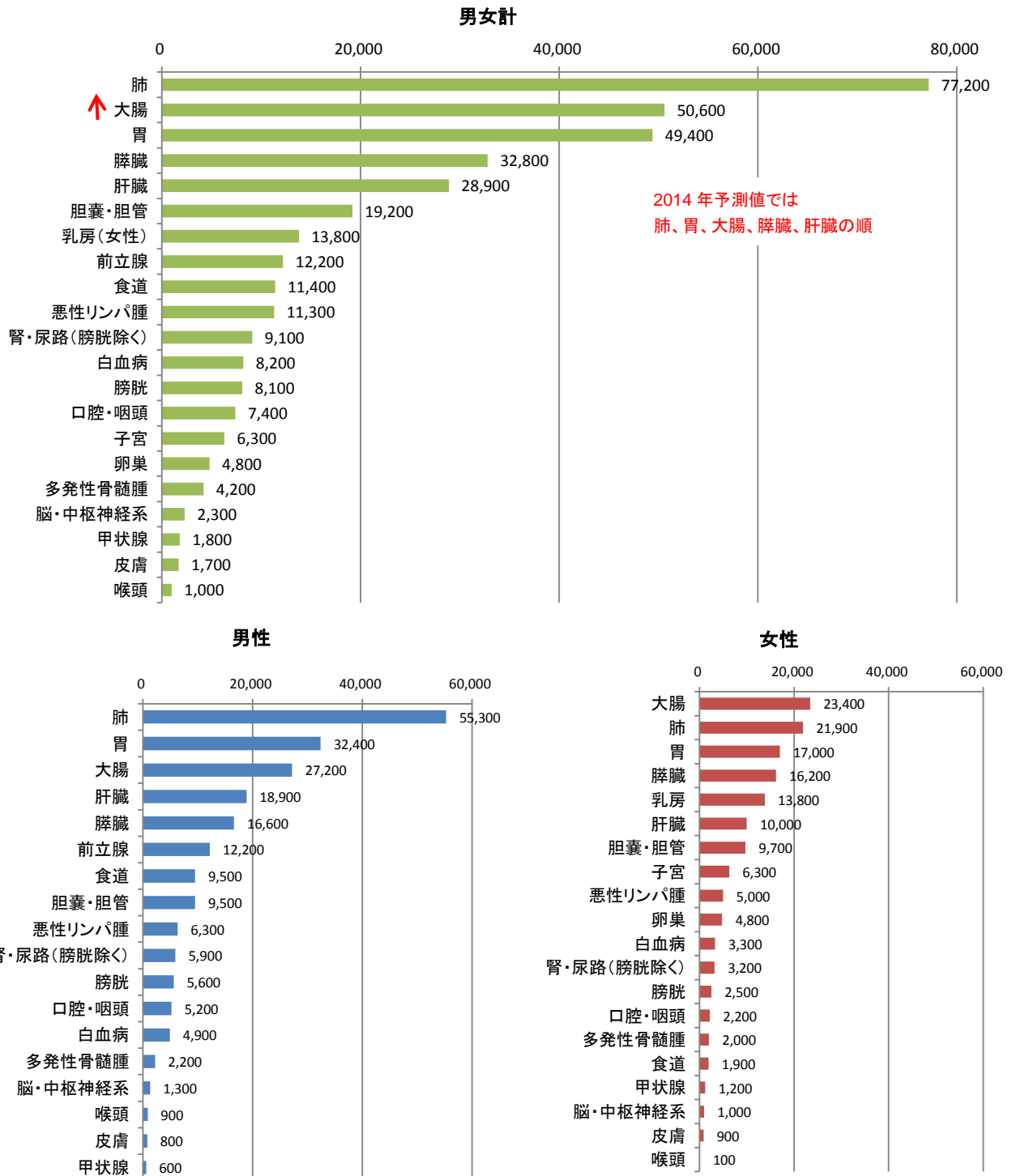
死亡数(がんで亡くなる人の数) *資料 2 参照

● **算出に活用したデータ**

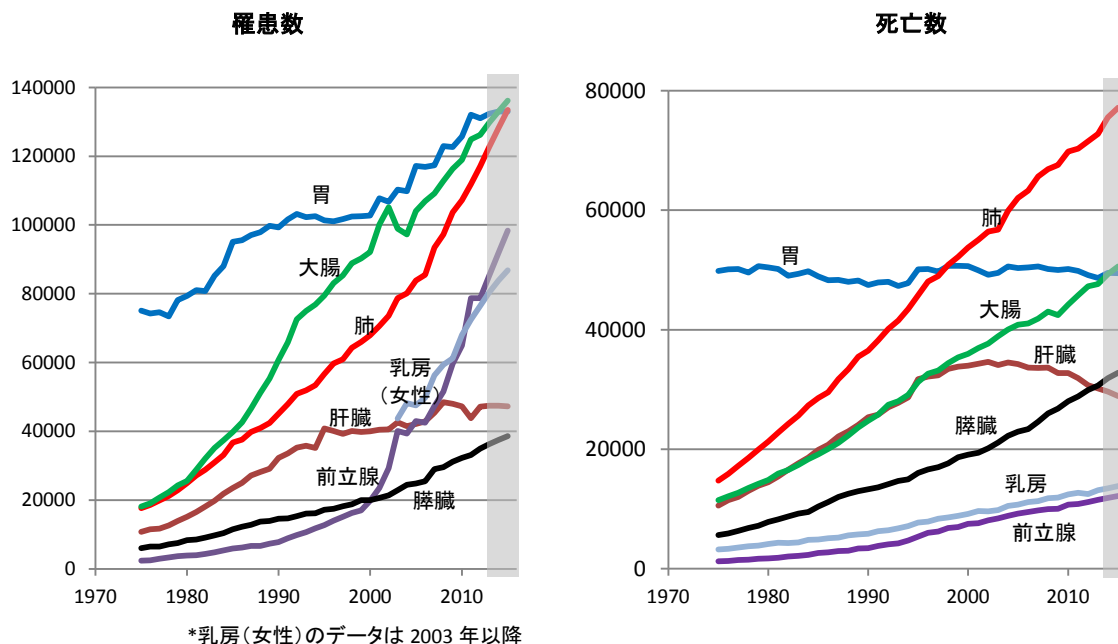
- ・ 人口動態統計がん死亡数 1975～2013 年実測値
- ・ 将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 中位推計)

● **結果**

- ・ がん死亡数予測は 370,900 人(男性 219,200 人、女性 151,700 人)
- ・ 2014 年の予測値と比べると約 4 千人増、実測値である 2013 年人口動態統計から約 5 千人増
- ・ 肺、大腸、胃、膵臓、肝臓の順に死亡数が多い



長期的傾向



- 罹患数、死亡数とも胃がんと肝臓がんの順位が下がり、肺がんと大腸がんの順位が上がっています。
- 罹患数は、前立腺がんと女性乳がんの増加が顕著です。

【まとめ】

- 2014年予測値と比べて罹患数が増加した要因は、高齢化とがん登録精度の向上が考えられます。
- 罹患数では大腸、肺、前立腺がんが、死亡数では大腸がんが順位を上げました。
- 罹患、死亡とも胃がんが順位を下げました。
- 大腸、肺がんの罹患数の増加は高齢化(高齢化の影響を除くと大腸は横ばい、肺は男性で減少)の影響が高いと考えられます。
- 前立腺がんの増加は、合わせてPSA検診の普及が寄与していると考えられます。
- 胃がんは高齢化の影響を除くと罹患数・死亡数は減少傾向ですが、高齢化の影響で増加または横ばい(他の増加が上回るため順位が下がる)です。

【解釈の注意点】

- 予測精度は主要部位の5年間の予測について、実測値と比較することで検証されています。
- 予測には誤差が伴います(統計学的なもの+予測不能な要因)。
- 予防危険因子の動向は、過去の罹患率、死亡率の変化に表れている部分は反映されていると考えられますが、将来の変化などは考慮していません。
- 検診の動向などによって変動があり得ます(特に前立腺がんの罹患)。

<報道関係からのお問い合わせ先>

国立研究開発法人 国立がん研究センター 〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

企画戦略局 広報企画室

TEL: 03-3542-2511(代表) FAX: 03-3542-2545 E-mail: ncc-admin @ncc.go.jp

資料 1

2015 年の部位別予測罹患数

男女計	
部位	罹患数
全がん	982,100
大腸	135,800
肺	133,500
胃	133,000
前立腺	98,400
乳房(女性)	89,400
肝臓	47,300
膵臓	38,700
子宮	30,000
悪性リンパ腫	29,700
腎・尿路(膀胱除く)	28,700
胆嚢・胆管	26,700
皮膚	24,400
食道	23,900
膀胱	21,300
口腔・咽頭	19,500
甲状腺	17,900
白血病	13,800
卵巣	10,400
多発性骨髄腫	8,600
脳・中枢神経系	5,100
喉頭	4,700
(再掲)	
(結腸)	(91,600)
(直腸)	(44,200)
(子宮体部)	(17,800)
(子宮頸部)	(12,500)

男性	
部位	罹患数
全がん	560,300
前立腺	98,400
胃	90,800
肺	90,700
大腸	77,900
肝臓	30,700
食道	20,500
腎・尿路(膀胱除く)	19,900
膵臓	19,400
悪性リンパ腫	16,400
膀胱	16,300
胆嚢・胆管	14,100
口腔・咽頭	13,000
皮膚	11,600
白血病	7,900
甲状腺	4,700
喉頭	4,300
多発性骨髄腫	3,900
脳・中枢神経系	2,600
(再掲)	
(結腸)	(48,600)
(直腸)	(29,300)

女性	
部位	罹患数
全がん	421,800
乳房	89,400
大腸	57,900
肺	42,800
胃	42,200
子宮	30,000
膵臓	19,300
肝臓	16,600
悪性リンパ腫	13,300
甲状腺	13,200
皮膚	12,800
胆嚢・胆管	12,600
卵巣	10,400
腎・尿路(膀胱除く)	8,800
口腔・咽頭	6,500
白血病	5,900
膀胱	5,000
多発性骨髄腫	4,700
食道	3,400
脳・中枢神経系	2,500
喉頭	400
(再掲)	
(結腸)	(43,000)
(直腸)	(14,900)
(子宮体部)	(17,800)
(子宮頸部)	(12,500)

* 大腸は結腸と直腸の合計。子宮には子宮頸部と子宮体部が含まれる。

資料 2

2015 年の部位別予測死亡数

男女計	
部位	死亡数
全がん	370,900
肺	77,200
大腸	50,600
胃	49,400
膵臓	32,800
肝臓	28,900
胆嚢・胆管	19,200
乳房(女性)	13,800
前立腺	12,200
食道	11,400
悪性リンパ腫	11,300
腎・尿路(膀胱除く)	9,100
白血病	8,200
膀胱	8,100
口腔・咽頭	7,400
子宮	6,300
卵巣	4,800
多発性骨髄腫	4,200
脳・中枢神経系	2,300
甲状腺	1,800
皮膚	1,700
喉頭	1,000
(再掲)	
(結腸)	(35,200)
(直腸)	(15,400)
(子宮頸部)	(2,800)
(子宮体部)	(2,400)

男性	
部位	死亡数
全がん	219,200
肺	55,300
胃	32,400
大腸	27,200
肝臓	18,900
膵臓	16,600
前立腺	12,200
食道	9,500
胆嚢・胆管	9,500
悪性リンパ腫	6,300
腎・尿路(膀胱除く)	5,900
膀胱	5,600
口腔・咽頭	5,200
白血病	4,900
多発性骨髄腫	2,200
脳・中枢神経系	1,300
喉頭	900
皮膚	800
甲状腺	600
(再掲)	
(結腸)	(17,400)
(直腸)	(9,800)

女性	
部位	死亡数
全がん	151,700
大腸	23,400
肺	21,900
胃	17,000
膵臓	16,200
乳房	13,800
肝臓	10,000
胆嚢・胆管	9,700
子宮	6,300
悪性リンパ腫	5,000
卵巣	4,800
白血病	3,300
腎・尿路(膀胱除く)	3,200
膀胱	2,500
口腔・咽頭	2,200
多発性骨髄腫	2,000
食道	1,900
甲状腺	1,200
脳・中枢神経系	1,000
皮膚	900
喉頭	100
(再掲)	
(結腸)	(17,800)
(直腸)	(5,600)
(子宮頸部)	(2,800)
(子宮体部)	(2,400)

* 大腸は結腸と直腸の合計。子宮には子宮頸部と子宮体部が含まれる。